



# 「スマリンでんき」からオーナーの皆様が 購入される電気料金について



- 電気料金に含まれる電力量料金は、燃料価格の変動に応じて燃料費調整額を加算あるいは減算して計算します。
- 燃料費調整額とは、貿易統計における原油価格や液化天然ガス価格などから算出される、その時々々の平均燃料価格により毎月変動する調整額のことです。
- 最近の世界的な燃料価格高騰の影響により、2022年10月現在すべてのエリアの燃料調整額が上記従量電灯の料金プランを超えており、今後の燃料価格情勢も不透明な状況です。
- 「スマリンでんき」の料金プランは大手電力会社の従来料金プラン(従量電灯などの特定小売供給約款等に基づく料金プラン)と、通常は燃料費調整額が基本的に同水準になるように設定しております。  
ただし、従来料金プランには加算される変動幅に上限がある一方、「スマリンでんき」の料金プランには上限がありません。(一部の関西エリアを除く)その為、燃料価格が高騰している現在、「スマリンでんき」の電気料金の方が高額になる可能性がありますことをご理解・ご了承頂きますようお願い申し上げます。
- 「スマリンでんき」にご加入いただく際には、「スマリンでんき」の料金プランと現在お使いの電力会社の料金体系を必ずご確認くださいませよう願いたします。  
(従量電灯の料金プランのほかにも、燃料費調整額の上限を設定している他社の料金プランもありますのでご確認をお願いいたします。)



## 電気料金の仕組み

電気料金は「基本料金」「電力量料金」「再生可能エネルギー協力賦課金」からなっています。  
その内「電力量料金」は発電時に使用する燃料費の増減を付加する為に「燃料費調整単価」が設定されています。  
その燃料調整単価が月を追うごとに上昇しています。

基本料金

+

電力量料金単価

×

一ヶ月の使用量

±

燃料費調整額

燃料費調整単価

×

一ヶ月の使用量

+

再生可能エネルギー  
協力賦課金

再生可能エネルギー  
発電促進賦課金単価

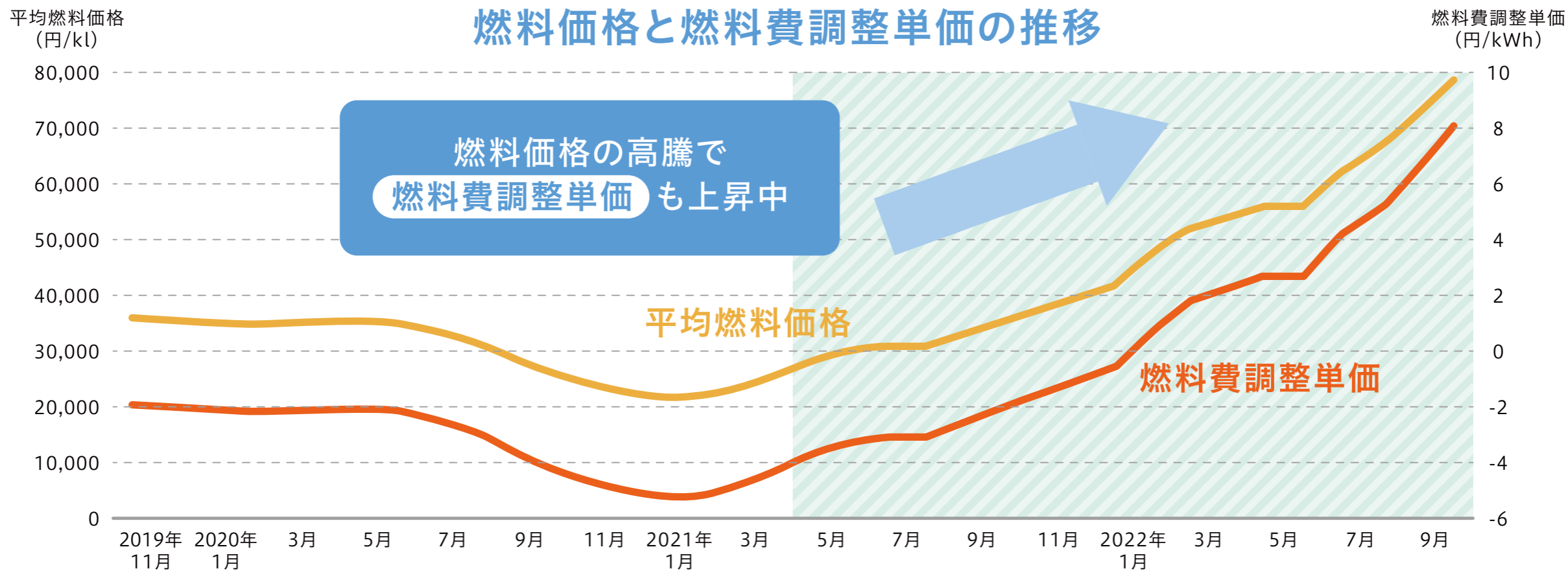
×

一ヶ月の使用量

※再生エネルギー賦課金は電力会社すべて同額

# 社会情勢の影響が電気代高騰につながっている

コロナ禍の反動で世界的にエネルギー需要が増大していることや、ロシアのウクライナ侵攻等の影響、また急速な円安等によって急激に燃料価格が高騰しています。  
そのため電気料金に反映する燃料費調整単価も上昇しています。

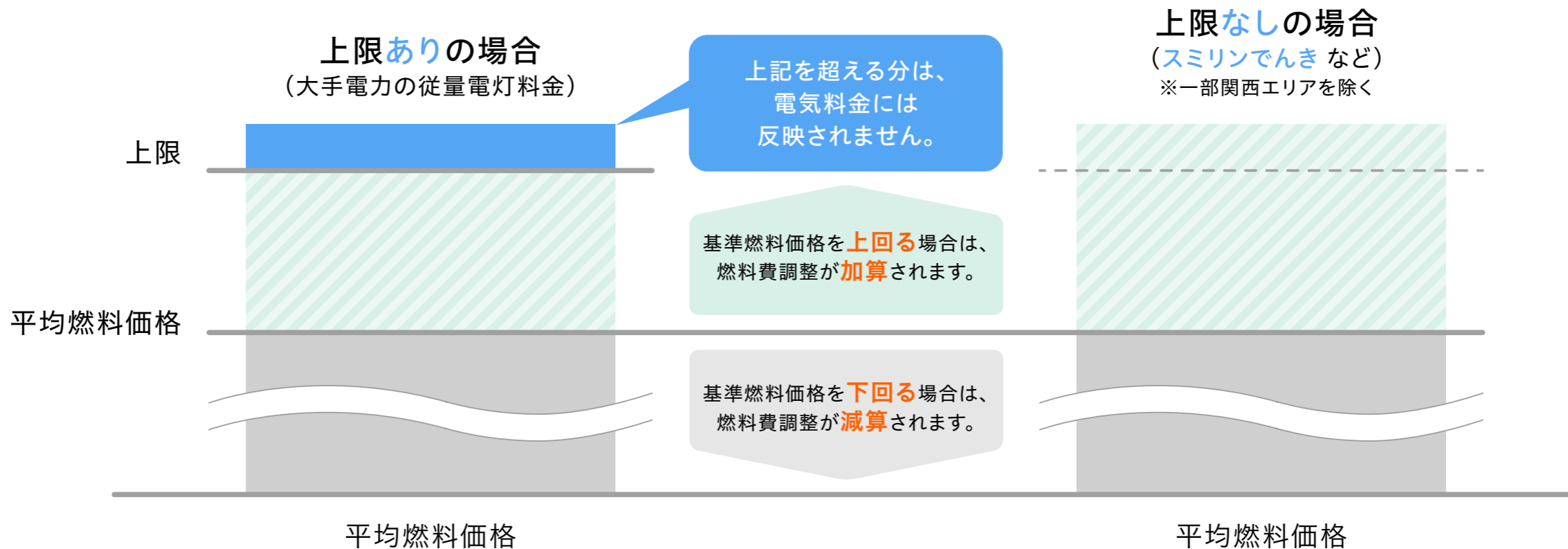


燃料調整制度についてはこちら

燃料費調整制度について | 電気料金について | 資源エネルギー庁 (meti.go.jp)

## 燃料費調整の「上限」とは

大手電力の従量電灯の料金プランは、燃料費調整単価が大幅に上昇した際に、お客様への大きな影響を和らげるため、調整される料金に一定の上限(基準燃料価格の1.5倍)を設定する決まりがあり、この上限を超える分は電気料金に反映されないようになっています。



### 「スミリンでんき」 燃料費調整制度の上限について

- 当社が代理店として提供する新電力には燃料調整費の上限を設置しておらず、そのため、電気料金にも上限の設定はありません。※一部関西エリアを除く
- 燃料価格が高騰した場合には、燃料費調整の上限を設定している他社料金プランよりも高くなる可能性があります。